学校番号	216

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ①　（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」を年間通して学習します。
■学習の到達度は、実技テスト、筆記テスト、ワークシート、授業への取組みで評価します。
■音楽の授業の最大の目標は、「一緒に音楽を楽しもう！」です。「楽しい」や「音楽って良いな」という気持ちに到達するには、ここぞという時に「音」に静かにじっくりと耳を傾けることが大切になってきます。そのことをいつも意識してほしいと思います。
■高等学校を卒業してからも、音楽が、皆さんの生活を潤す一助となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 実技テスト	観察 筆記小テスト 実技テスト	観察 ワークシート 筆記テスト(校歌)

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージをもって豊かな声で歌おう	【歌唱】 斉唱 発声の仕組み(DVD) 「校歌」 「翼をください」 愛唱歌 「手紙」 「キセキ」 「ひまわりの約束」 「おおシャンゼリゼ」	○	○	○	○	a:イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽が生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせて、どのように歌うか、表現意図をもっている。 c:発声の仕組みを知り、表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d:歌詞を理解し暗記している。 (d：校歌)	観察 実技テスト 筆記小テスト 筆記テスト
	美しい音色を感じ表現しよう	【器楽】 アルトリコーダー 「Aura Lee」 「ふるさと」二重奏 「めぐる季節」	○	○	○		a:アルトリコーダーの基礎的な奏法の特徴と、楽器の音色や響きに関心をもち、それらを生かして演奏する学習に、主体的に取り組もうとしている。 b:音楽が生み出す雰囲気や特質を感受しながら、どのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:楽器の音色を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能(奏法、呼吸法、運指、読譜)を身に付けている。	観察 実技テスト ワークシート
	様々な楽曲の音色のそれぞれの楽しみ方を知り、味わおう	【鑑賞】 「雅楽の楽器」 「尺八とフルート」 「津軽三味線とポップス」 「世界の合唱曲」	○			○	a:楽曲や作曲者、演奏者の文化的背景や年代等の特徴に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたり、音楽に対する理解を深め、そのよさや美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 2部合唱 「ふるさと」二重唱 「大きな古時計」二重唱 クリスマスソング集	○	○	○		a:イメージを持って歌うと共に、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲種に応じた音楽表現をするために必要な歌唱の技能(発声、発音、リズム、音程のとり方)を身に付け、協力し合い創造的に表現している。	観察 実技テスト
	ギターで、メロディーの演奏にチャレンジしよう	【器楽】 クラシックギター 「カッコウ」 メロディーとコード伴奏 C,G7	○	○	○		a: クラシックギターの基礎的な奏法の特徴と、楽器の音色や響きに関心をもち、それらを生かして演奏する学習に、主体的に取り組もうとしている。 b:音色、リズム、速度を知覚し、どのように表現するか、表現意図をもっている。 c: 演奏するために必要なギターの基礎的な演奏技能(運指、奏法、姿勢)を身に付けている。	観察 実技テスト
	ギターの音色の美しさを味わおう	【鑑賞】 ギター 村治佳織、木村大、沖仁 押尾コータロー　など、 さまざまなアーティストの演奏を鑑賞する	○			○	a:ギターの音色、響き、表現の方法に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたり、音楽に対する理解を深め、ギターのよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

3学期	ミュージカルの魅力を探ろう	【鑑賞】 ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」より 「ｻｳﾝﾄﾞ・ｵﾌﾞ・ﾐｭｰｼﾞｯｸ」 「もうすぐ17才」 「ドレミの歌」 「エーデルワイス」 「すべての山に登れ」	○			○	a:ミュージカルの特徴、作品の文化的・歴史的背景に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽が生み出す特質や雰囲気、要素(発声、旋律、速度、強弱、構成)を知覚し、表現上の効果との関りを感じ取って、楽曲や演奏を解釈し、音楽に対する理解を深め、ミュージカルのよさや美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート
	ミュージカルナンバーを原語で歌ってみよう	【歌唱】 ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」より 「ｻｳﾝﾄﾞ・ｵﾌﾞ・ﾐｭｰｼﾞｯｸ」 「エーデルワイス」	○	○	○		a:ミュージカルに関心を持ち、原語で歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素(発音・旋律・リズム・速度・強弱)を知覚、感受し、歌詞の内容と関わらせて、どのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート
	ギター弾き語り演奏にチャレンジしよう	【器楽】 簡単なギターコードを分担して全員による弾き語りを体験する。 ・Em、Am、C、G　のコードを使った楽曲	○	○	○	○	a: クラシックギターのコードの奏法と響きに関心をもち、それらを生かして演奏する学習に、主体的に取り組もうとしている。 b:音色、リズム、速度を知覚し、どのように表現するか、表現意図をもっている。 c: 演奏するために必要な一の基礎的な演奏技能(運指、奏法、姿勢)を身に付けている。 d:全体のコードの響きや歌の旋律とコードの関係に、良く聴きながら歌うことで気づいている。	観察 実技テスト

※　表中の観点について　a: 音楽への関心・意欲・態度　　b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能　　d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。